

武蔵台だより

第343号

発行 こま武蔵台自治会
☎ 982-3904
編集 広報部
発行部数 2,500部(単価47円)



安全・安心の街作り に向けて

こま武蔵台自治会会長 土井 太郎

本年度の自治会活動は、早いものでもう7ヶ月が過ぎ、この間、住民の皆様が安心して安全に住み続けられ、誇りの持てる街作りを目指して諸活動をしてまいりました。

- ・ 住民同士がお互いに顔と顔が分かり、少しでも絆を深められるようにしていきたい。
 - ・ 地域協力団体との連携を深め、日常生活に寄り添った活動内容にしていきたい。
 - ・ 高齢化の現実を直視する、と同時に街の活力を創生していくことも考えていきたい。
- このような思いを具体的な活

動に展開していくことは課題も多く、直ちに解決できる問題ではありませんが、一步一步前進を図っていくことが重要と考えています。

当団地は河川もなく、岩盤地質に覆われた高台にあることから、比較的安心な場所と言われていますが、油断は禁物です。想定外の自然の力も視野に入れなければなりません。自治会としても、自主防災のあり方や、より現実に即した機能する自主防災組織にするためにはどうあるべきかについて検討を始めました。「育児・子供の悩みや不安」、「健

康や介護の悩み」など、生活の相談相手に「民生委員、児童委員」がおられます。地域福祉の推進を担う「こま武蔵台福祉ネット」が活動されてま

す。自治会はこちらの方々や団体組織とより密接な連携を図るようになっています。住民の皆さんがこれら組織、団体の活動を理解し、積極的に関わっていただけるようになればと思っております。

お年寄りが安心して外出ができて、地域の諸活動に参加したり、買い物や病院へ足を運べる環境を作るためにも、移送サービスを何とか実現させたいと考えています。

安全・安心の街作りには、現在抱えつつある多様な課題への対応のみならず、近い将来を見据えた積極的な提案・行動が合わせて必要と考えています。その為には、自治会会員の皆様の理解と、諸活動への参加・協力が不可欠です。会員の皆様、自治会活動への一層のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

地区体育祭が開催 総勢750人が競技に汗を流しました!

自治会体育部長・地区体協役員 宮岡孝二

9月27日(日)第33回武蔵台・横手台地区体育祭が武蔵台小学校校庭にて行われました。体育祭は武蔵台公民館、武蔵台・横手台地区体育協会が主催し、武蔵台自治会、横手台自治会が全面的に協力し実施されています。朝の雨の影響で一時間遅れの開会でしたが、競技は未就学児から高齢者まで総勢750人の方が参加し、地区対抗種目など熱の入った応援で大変盛り上がりました。前日や朝早くから準備をして頂いた地区役員や地域の皆様のご協力により、楽しい秋の一日となりました。ありがとうございました。

武蔵台と横手台の地区対抗結果は表の通りです。最終種目の男子対抗リレーで逆転し、武蔵台地区が連覇しました。今後も地域住民の健康増進と体力の維持向上、住民相互の連帯意識の醸成を図ることを目的に取り組んで行きたいと思っておりますので、皆様の参加をお待ちしております。

	玉入れ	綱引き	ボール送り	障害物競走	対抗リレー	合計
武蔵台地区	0	0	5	0	18	23
横手台地区	2	2	1	2	12	19

平成27年度（9月） 第6回定例役員会報告

平成27年9月19日（土）

午後7時～9時

自治会館2F会議室

◆Ⅰ 協議事項◆

- (1) 27年度会計中間報告
夏祭り実績並びに予算進捗について
- (2) 体育祭について最終確認
役割分担と昼食対応について
- (3) 公民館主催の文化祭への模擬
店協力について
10月17日（土）18日（日）
- (4) 高麗郡建郡1300年記念に
向けて武蔵台区へ協力要請がきた
a 平成28年5月21日式典と22日
（日）パレード参加協力（最低
15名以上）
b 高句麗衣装作成大人・子供
（台っこスクール依頼中）

◆Ⅱ 会長・区長からの報告◆

(1) 会長

- a 6丁目山林草刈9月6日（日）
41名の参加
- b 緑の募金・社会福祉社員増強運
動の報告とお礼

- c 赤い羽根共同募金の協力願ひ
- d 交通安全対策として中央通りと
東西通り交差点のカーブミラー
鏡面の障害樹木伐採
- e 移送サービス委員会実施
- f 第1回自主防災委員会開催
- g 民生委員、包括センター定例会
議9月16日（水）
- h 武蔵台中学校運動会9月19日（土）
- i フレンド幼稚園運動会10月3日（土）
- j 武蔵台中学校生徒による資源回収
実施

(2) 区長

- a 明るい選挙の小中学生習字、ポ
スター選考会9月10日（木）
- b 国勢調査月間協力をお願い
- c 市議会一般質問傍聴9月15
（火）・16日（水）
- d 虹のパレード9月23日（水）
- e 日高市社会福祉協議会3役会議
9月29日（火）
- f 日高市環境衛生審議会9月30日（火）
- g 特別職報酬審議会9月30日（水）
- h あいあい祭り10月3日（土）

以上

おくやみ

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

此常 富士雄（78歳）二一六一三

（逝去日）十月六日

平成27年度（10月） 第7回定例役員会報告

平成27年10月17日（土）

午後7時～8時45分

自治会館2F会議室

◆Ⅰ 協議事項◆

- (1) 日高市消防団協合金支払いに
ついて
- (2) 「下期に向けた団地内の安全安
心と環境問題について」（意見・
提案）
a 安全面
① 交通安全について
② 防犯について
③ 自主防災組織について
④ 移送（コミュニティー活動）
サービスについて
b 環境面
① 一斉掃除について
② 街路樹の管理と剪定期期につ
いて
③ 市（公園含む）、東急、西武
所有地樹木剪定について
④ 家庭の庭木の道路はみ出し、
標識妨害について

◆Ⅱ 会長・区長からの報告◆

(1) 会長

- a 武蔵台中学校生徒による資源回
収実施11月18日（水）
- b 武蔵台福祉ネット役員会10月22
日（木）
- c 台つ子スクール10月30日（金）
- d 10月18日（日）一斉掃除に武蔵丘
車両検修場の参加協力を頂きま
した。
- (2) 区長
a 高麗神社大例祭10月19日（月）
b 振り込み詐欺街頭キャンペーン
10月20日（火）
c 日高市戦没者追悼式典10月21日（水）
d 社会福祉協議会3役会10月23日（金）
e 特別職報酬審議会10月28日（水）
f 飯能警察暴力排除フォーラム10
月31日（土）
g 市民祭り11月7日（土）・8日（日）
h 日高市総合計画審議会11月12日（木）
i 日高市ワンテーパーチ11月15日（日）
j 日高市消防団特別点検式典11月
21日（土）
k 日高市区長会研修会11月25日（水）
l 日高市社会福祉大会11月28日（土）

以上

安全・安心の街づくりを目指しています

こま武蔵台自治会 安全対策部 世良田 俊郎

●武蔵台の防災活動



災害に対する日常意識の向上を図る

こま武蔵台自治会の防災訓練を9月13日（日）に中の田公園の防災倉庫前の広場及びグラウンドで行いました。ちょうど訓練日の直前に、茨城・栃木の豪雨水害、東京湾を震源とする東京多摩・調布地区の震度5弱の地震などがあり、より意識の高まりを感じた訓練となりました。

訓練には、約90世帯の皆さんが参加され、日高市消防署、消防団、日本赤十字社奉仕団の方々による指導により、充実した訓練となりました。

訓練項目は家屋の倒壊を想定した救助・救出方法、煙体験、消火栓やホース格納箱の説明、ホース接続と放水実演、非常食炊き出し実演など多種に渡りました。

さて、改めてわが街「武蔵台」はといえば、高台に位置し、多峯主山に登る途中では、関東平野を見わた

しながら遥かに筑波山を視野に入れることも出来るようなところ。この美しい自然の地形は、大水害や津波の被害から守ってくれている反面、山間の土砂災害による危険性を常に考えておかなければならないといえます。この自然豊かな環境の中で、少しでも安全・安心の生活をしていくためにも、防災訓練を単なるイベントに終わらせるのではなく、日常生活の中で防災意識を高め、いざという時に何をしたらいいのか考える機会にしてほしいと思っています。

昨今、自主防災組織とその運用体制の整備・充実が声高に言われています。市行政が指定する避難所があっても、高齢者など行動弱者の方々も安心して避難できる計画が周知され、必要な時にそれが実行できる体制が機能しなければなりません。我々自治会としては、自主防災組織をより実効性のあるものにするためにはどうあるべきかなど、今、多くの課題への取り組みを開始しました。

●安全パトロール

住民みんなで安全・安心の意識を高め、共に行動をとりましょう！



安全対策部では、10年前から約30名の部員による安全パトロールを実施しています。分担地域を2人一組となり、月2回のパトロールを行い、防犯、交通安全の観点から交通標識、街路灯、庭木の繁茂、違法駐車などをチェックし、適時、関係所管に報告・要請を行っています。パトロール時の服装は、明緑色の帽子とベストを着用し、犯罪の抑止力にもなればと心掛けています。

武蔵台の全世帯数が2200世帯であることを考えますと、過去の犯罪件数の割合は極めて小さいと言えます。しかし、より安心できる街づくりを目指すためには、日常生活の中で交わされる挨拶やちょっとした会話、隣近所や子供達を見守っていく意識がどれほど大切な事で且つ大きな効果をもたらすものか・・・と考えています。まさに全員参加の意識が安全・安心の街づくりの基本と言えるのではないのでしょうか。

*** お知らせ ***

昇仙峡・石和温泉 日帰りバス旅行 (11月11日予定)

90名以上の参加申し込みを頂きました！

大型バス2台でゆったり旅行。秋の紅葉、一流温泉旅館で入浴・昼食、そしてワイナリーでの試飲・・・楽しみが盛り沢山。
集合は午前7時20分。バスはショッピングセンター脇の調整池、木綿沢の2か所から出発します。
尚、参加費は当日朝に徴収。また、参加取り消しをされる場合、7日前から半額、前日及び当日は全額の取り消し手数料のご負担が発生いたしますのでご注意ください。
詳細のご案内は、前もって参加予定者に別途配布されます。

(行事担当 文化厚生部)

6丁目山林の下草刈り

9月6日(日)、40数名の方々の参加を得て、6丁目山林の下草刈りを行いました。埼玉県川越林業振興センターの補助金を活用して、6丁目の『果実の広場』付近とそれにつながる山道の下草を刈りこみました。お蔭さまでスッキリとなりました。ボランティアで参加いただいた方々、本当にありがとうございました。

(取材 広報担当 森)



この場所が → 皆さんの作業によって 一見違えるようになりました

防災訓練レポート (9月13日(日) 中の田公園にて)

訓練では日頃の意識の大切さを改めて認識！

自治会(安全対策部)主催の防災訓練が実施されました。当日は、飯能日高消防署、日高市消防団、日高市赤十字奉仕団、日高市役所等のご協力の下、100人近くの住民が参加。久しぶりの晴天。最近各地で発生する大災害のためか、参加者の皆さんの表情は真剣そのものでした。

地震時の救出訓練、煙体験、消火ホース・消火栓の使い方、放水実演等が行われ、最後に炊き出しの実演もあり、参加者には防災意識が大いに高まった2時間でした。

また、武蔵台在住の岩本消防団員には熱い声援が送られました。

負傷者救出訓練：

家屋内で倒壊物に挟まった人をジャッキ、梃子を使い救出し、担架搬送。



土井会長の挨拶でスタート



飯能日高消防署、日高市消防団等の方が訓練指導



煙体験：

水蒸気の煙で視覚ゼロ体験。体験テントに入ると方向感覚がなくなり、数メートル先の出口を見つけるのがなかなか出来ない。大事なものを取りに戻って亡くなった人が多いという話を実感。



消火訓練：

機器格納箱、消火栓の説明があり、初体験の方が多く指導員の方に真剣な質問が飛ぶ。ホース操法は、非力な私では相当無理と実感。初期消火がとても大事だと指導員が強調されていた。近所の消火栓がどこにあるかを認識しておくことが大切。非力な私でもこれくらいはやらないと。住まいの周りの最低二ヶ所は把握しておこう。



包装食による非常炊き出し実演：

米飯の包装食を頂く。塩味が効いていてやわらかく比較的美味でした。



(取材：広報担当 掘井、小松)

地区体育祭レポート (9月27日(日) 武蔵台小学校校庭)

当日午前中の天気は小雨。でも午後にはすっかり回復し、参加された皆さんは秋空の下でいい汗をかきました。

競技は、必死の思いで懸命に走る「徒競走」から、無心で挑んだ「パン食い競走」や「紅白玉入れ」など多彩な種目に、子供からお年寄りまで、元気いっぱいの声を響かせていました。

30メートルほどの決められたコースを出来るだけゆっくり進む「自転車遅乗り競走」は、意に反し苦戦する人が多く、昔は自分の足のように自在に操ったのに?! こんなはずじゃー?! の叫び・・・(日

ごろの運動不足? それとも年を取り体幹感覚が衰えた? のかも知れませんね)

「パン食い競走」は今年も大人の一番人気。皆さん童心にかえて楽しみました。

「なかよし親子」では、目隠しの大人の手を引いていき、途中からおんぶしてもらって走ったり、子供たちの目は、お父さんやお母さんとの嬉しいスキンシップで輝いて見えました。

最後は恒例の「地区対抗リレー」、そして今年も『武蔵台地区優勝!』皆さんが楽しく過ごせた一日。ありがとうございました。(取材：広報担当 森)



全員で朝の準備体操



パン食い競走でヒートアップ



地区対抗綱引き-腰が高いよー!

わが街・わが地域・わが暮らしの豆知識

高麗駅乗降者数にみる街の変遷

1丁目 鳥取 壮宇

高麗駅の一日の乗降人員について調べてみました。昭和52年度2千6百人だったものが、57年5千人台、63年6千人台に急増し、平成5年には最高の6千6百人(昭和52年度の2.5倍強)に達しました。この背景には、バブル景気に武蔵台住民が増え、いわゆる都内に通う埼玉都民と通学生が増加したことがあります。しかしその後は漸減し、平成10年5千人台、平成16年4千人台に減り、平成25年には遂に3千人を割りました。定年退職者が増え、一方で若者の多くが当地を離れたためでしょう。

乗客の増員対策について西武鉄道に尋ねてみると、秩父観光のテレビCMを放映するなど、定期外のお客様の誘致に力を入れているほか、海外向けのCMなども作成して、外国人のお客様の誘致にも力を入れていると言っていました。



また、一時世間を賑わせた不採算路線の廃止については、そもそも廃止について検討もしていないとのこと。年々高麗駅の利

用者が減っていくのを知ると、廃止はともかく電車の本数が減るのではないかと、余計な心配が頭をよぎります。万が一にもそうした事態にならないように、西武鉄道のさらなる努力をお願いしたいものです。と同時に、我々住民が出来ること、すべきことは何かも考える必要があるのではないのでしょうか。

巾着田の曼珠沙華まつりの期間は、曼珠沙華を見に訪れる人で高麗駅は大変賑わいました。各地に彼岸花の群生地が数多くあるなかで、清流と緑と里山に囲まれ、高麗の自然に包まれた曼珠沙華だからこそ、多くの人達は魅力を感じ

足を運ぶのではないのでしょうか。

わが街武蔵台には、素晴らしいいくつものポイントがあります。

それをわが街のさらなる特徴に育

ジュニアサマースクールを開催

電車装置の実操作体験にチヨット興奮!

武蔵丘車両検修場

イベント推進委員会

8月21日に武蔵台公民館と共催でジュニアサマースクールを開催しました。これは、地元の皆さまに検修場を理解して頂くことを目的に毎年行っているものです。

当日は、夏休みの小学生を中心にご家族あわせて28名の皆さんが来場して、場内の見学や電車内の放送装置・ドアなどの操作、吊り手取付体験を行いました。普段は見ることや触れることができない電車の装置に、子供たちの目が輝いていたのが印象的でした。暑い夏の1日、検修場が楽しい思い出づくりのお役にたてたら私たちも嬉しいです!

で、それを知らしめる情報の発信が、高麗駅利用客数が増加に転じるキーになるのかも知れません。

(注記：文中の数値は西武鉄道広報部に依る)



4000系の前で全員集合



吊り手の取付体験

ツイート広場・つぶやき交差点

◆移送サービス実施へのハードルは高くても・・・！ 移送サービス委員会に出席して考えること



「武蔵台だより」7月1日号で『移送サービス実施に向けて再準備活動を開始』の記事が載っていたのを覚えているでしょうか。

5月から始まった移送サービス委員会では、毎月熱心な議論が展開されています。しかし会議で色々なことを知るたびに、実施へのハードルが高いのに驚きます。関係する「道路運送法」では、サービス利用の有料化は認められず、また、路線バス等公共交通機関の営業に影響を与えてはならないことなどが定められています。問題は、法律には高齢化の進む社会の住民目線の視点が全くないことです。

委員会では、土井会長が先頭に立ち、市行政関係者や福祉ネット・地域お助け隊の要支援者移送サービス活動の責任者の他、多くの関係者が現実を踏まえながら、実現の可能性を追求しています。高齢化は日一日と進んでいます。自動車免許証を返納する人が増えています。坂道の多い街に住む人にとって、足腰の衰えは自宅ひきこもりの生活になっていくことを意味します。これを食い止めなければ街の活力は増々失われていきます。その為にも移送サービスの実施を実現させなければなりません。皆さんも一緒に考えてください。(移送サービス委員会委員 7丁目 男性 Y)

◆「高麗川まるごと再生プロジェクト」とは・・・？ 自然の環境、カワセミの生息が守られるか心配です！

武蔵台に引越してから15年になりますが、巾着田の変貌ぶりには目を見張るものがあります。引越し当初、

巾着田は彼岸花の自生地と言うものの今ほど見事ではなく、お花畑への出入りは自由で自然そのまま。日高自慢のカワセミや野鳥が今よりもっと沢山飛び交っていて、野生の魅力がありました。しかしそのうちに、長期間工事を経てピカピカの鹿台橋が完成し、巾着田の中の駐車場整備、そしてコンクリート化された遊歩道に導かれた「曼珠沙華公園」となり、皮肉にも「カワセミ保護区」の看板だけが目立つようになりました。そして今、聞くところによればこの11月、巾着田から下流の高麗川河川敷に、コンクリートで敷き詰められた遊歩道建設が始まるとか。

更に自然環境が壊され、カワセミもいなくなる高麗川になってしまうのでは・・・と心配です。高麗川流域に住み、ここを故郷と考えている私たちの声を市行政に反映して頂けるよう、皆で考え行動する必要があると思っています。

(一丁目 男性 K)



◆美しい花壇に『ペットの糞』はないでしょ！

前回の武蔵台だよりで、「よつばのクローバー」の皆さんの花壇美化活動を知りました。ボランティア活動を知るといつも頭の下がる思いをします。花をいっぱい咲かせてちょっぴりでも幸せな気持ちになればという思いのこめられた花壇に、置き去りにされたペットの糞、時には土をかぶせて見えなくしてある糞があるというのです。心ない一部のペット愛好家がいるのでしょうか？残念です！少しでも美しい花壇を守り、それを楽しむことがボランティアの皆さんに示すべき最小限の感謝の気持ちと行動ではないでしょうか。(3丁目 男性 D)

リレー随想

お弁当箱のパンダ

ひょんなことから孫のお弁当を作った。お弁当作りを卒業して、もう何年になるだろう。世の中はキャラ弁全盛。



ばあばには隔世の感がある。キャラ弁指南書を片手に先ずは練習。だが、キャラ弁初心者はずいつい手で触れ、傷みが心配になる。結局、型抜きのお小さなパンダのおにぎりを詰めた。見本の愛らしいパンダに比べて、目になる海苔がずれたお弁当箱のパンダは少し泣きべそになった。(4丁目 女性 M)

墓参り

毎年、春と秋の彼岸、お盆の入りの頃に、都内に在るお寺へ墓参りに行きます。蜘蛛の巣を払い、雑草を抜き、無言で墓石を磨く。汗を拭きながら周りを見渡すと、最近手入れをされていない墓が目立つようになりました。

『墓じまい』が話題になる昨今、子供たちが年老いてからのことが気になります。線香をあげて手を合わせ、『ご先祖様、その時はあしからず・・・今年もお彼岸がやってきました。』
(1丁目 女性 Y)



ローリングストックで 防災備蓄食を楽しむ

ある新聞に、食べて高める防災意識という見出しで、ローリングストックという方法を紹介していた。賞味期限が1年以内の一般的な保存食を、災害発生後、自宅避難者への配給が可能となるまでの間の一週間分程度をとりあえず用意する。自分の好みものを日常に使いまわし、使えばその分を補充して回転していくという日常備蓄ともいうやり方だ。カセットコンロやボンベと一緒に準備をし、しまい込まずに台所など日常目に触れる場所におくことがポイント。非常食といえば乾パンや缶詰を発想し気が重くなるが、この方法だと誰でもストレス無くやれるのでよい。最近はレトルト、カップ麺、カレーなど多様なものがあるので楽しみながら防災備蓄も考えられる。日常備蓄はいざという時、さてどこに置いたかなというのも防げるから、素晴らしいやり方だ。(1丁目 男性 H)

編集後記

「安全・安心の生活」を考える編集構成を目指しました。私たちの街が高麗川流域の自然の恵みに囲まれていることを再認識するツイートも頂きました。秋の夜長、皆さんも一緒に考えてみませんか？ (広報担当 柳沢)